

鏡野町公共施設白書



平成28年3月

岡山県鏡野町

はじめに

平成の大合併により苫田郡西部4町村が合併して誕生した鏡野町は、合併後10年を経過しました。鏡野町はこの10年間に、行財政改革を進め、行政サービスの向上、財政の健全化に努めてきました。その一方で、日本社会は高齢化・人口減少が進展し、鏡野町でも同様の状況です。また、今後さらに人口構造の変化が見込まれることから、今後の鏡野町のあるべき姿を見つめなおす時期が到来していると考えます。

公共施設は様々なサービスを提供しており、私たちの生活に欠かすことのできないものです。しかし、高度経済成長期以降に集中的に整備された公共施設は、老朽化が進行し、今後一斉に改修・更新時期を迎えようとしています。これらの改修・更新には、多額の費用が必要となり、自治体の財政に大きな影響を及ぼすこととなります。また、いわゆるハコモノだけでなく、道路や上下水道などのインフラについても、同様に老朽化が進行しており、更新が必要となります。このことが「公共施設等の更新問題」と呼ばれ、全国の自治体で問題となっています。大都市よりは公共施設の整備が遅かった鏡野町では、今後20年間に施設の大規模改修時期を迎え、その後に更新時期を迎えることとなります。

この公共施設白書では、鏡野町が所有する建物に着目し、用途別の施設の面積、更新に係る費用、維持管理経費等の状況をまとめました。今後は、この白書をもとに施設の多様な利用や、長寿命化、適正な配置を住民の皆様と一緒に検討していきたいと考えています。



目次

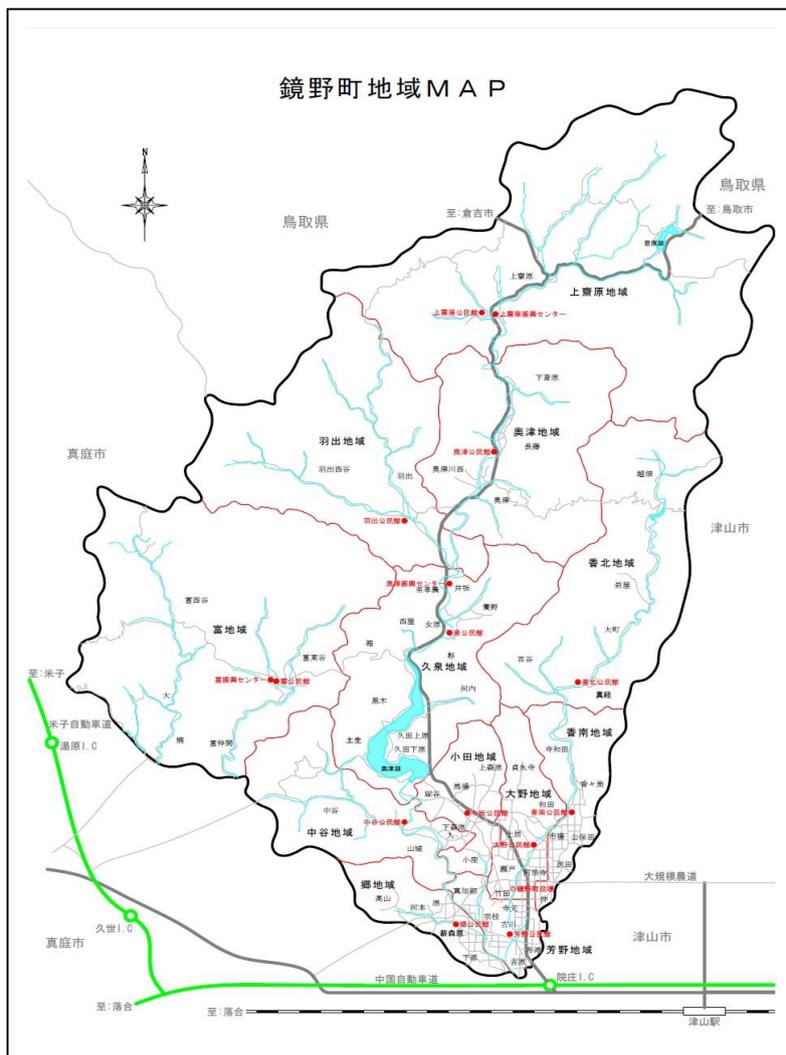
第1章 鏡野町の概要	1
(1) 人口動向・推計	2
(2) 財政状況	4
①歳入・歳出決算の推移	4
②普通建設事業費の推移	7
第2章 施設等の状況	8
(1) 公共施設建物の延床面積の割合	8
(2) 一人あたり保有面積の状況	9
(3) 建築年次別整備状況	10
(4) 公共施設の更新費用の試算	11
第3章 個別施設の状況	12
(1) 用途別公共施設の状況について	12
(2) 公共施設の維持管理に要した経費について	23
第4章 公共施設の抱える現状の課題	24
(1) 公共施設の抱える課題	24
(2) 今後の取り組みの方向性	25

第1章 鏡野町の概要

現在の鏡野町は、平成17年3月1日に旧鏡野町・奥津町・上齋原村・富村が合併し、発足しました。鏡野町の役場庁舎(本庁舎)の位置は旧鏡野町にあり、その他の地域には合併前の役場庁舎を振興センターとして設置しています。鏡野町は岡山県の北部に位置し、北は鳥取県に、東南は津山市、西は真庭市に接しています。また、山陽地方と山陰地方の中間、関西圏と広島県の中間に位置し、古くから山陰、山陽などの主要都市を結ぶ地域となっています。

地勢は、鳥取県との県境をなす中国山地南面傾斜地や平坦肥沃な準平原地で、気候は夏冬の温度格差が大きい内陸型気候であり、北部では積雪量が2mに達する地域も見られます。町の主な産業は、米・果樹・野菜などを中心とする農業と林業で、商工業は地場産業や誘致企業が立地・操業しています。また、温泉をはじめキャンプ場・スキー場などの観光資源も豊かで、農林水産業等を連携させた他産業への波及効果を拡大させる観光戦略を推進しています。町の中心部は中国自動車道の院庄ICに近く、国道179号バイパスが南北に、大規模農道が東西に通過し、交通の動脈的役割を果たしています。

(鏡野町の位置)



(1) 人口動向・推計

鏡野町の総人口は、平成 17 年 3 月合併時には 14,000 人を若干上回っていましたが、その後は減少傾向にあり、現在は 13,700 人程度となっています。図 I-1 は、大正 14 年から平成 22 年までの国勢調査による人口及び平成 27 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳人口を表しています。鏡野町の人口は、戦後の第 1 次ベビーブームにより一時的に増加したものの、昭和 25 年あたりをピークに、その後は年々減り続けています。特に昭和 30 年代からの高度経済成長期に急激に減少し、昭和 40 年代には戦前の人口を下回りました。合併後も緩やかな減少傾向で推移しています。日本の総人口のピークは平成 22 年頃と考えられていますが、鏡野町の場合は 60 年も前から人口減少が始まっていました。人口減少の要因として、就学・就労の場の不足による若年層の流出と、それに伴う出生数の減少が考えられます。

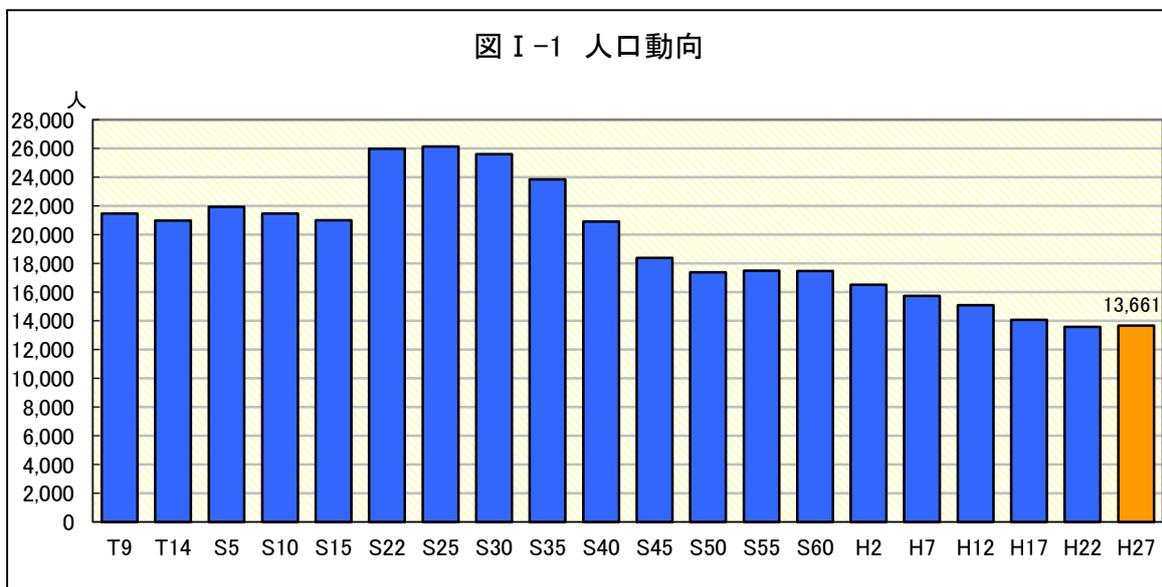
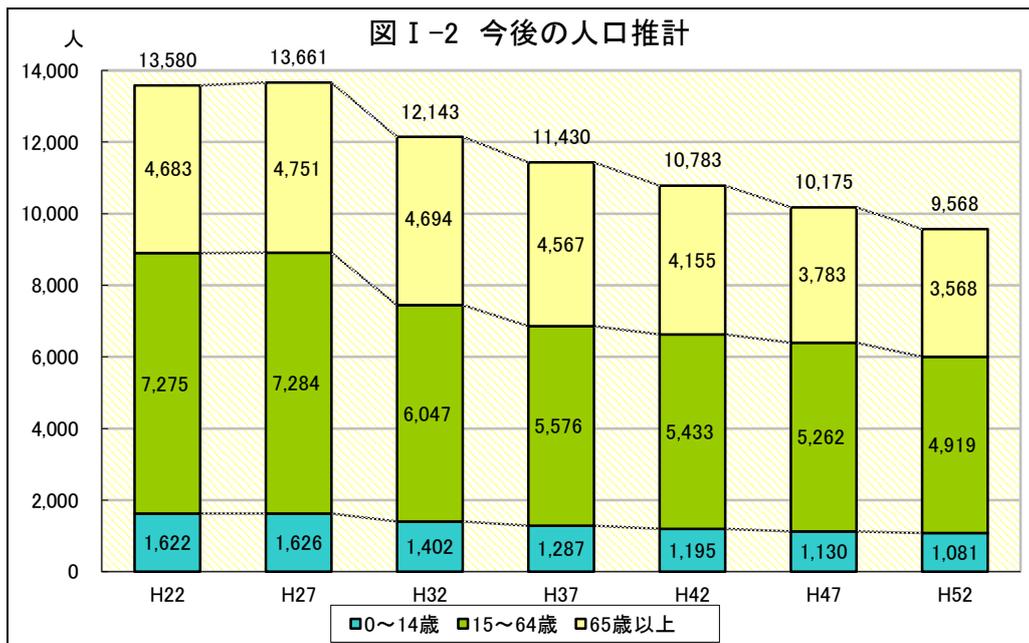
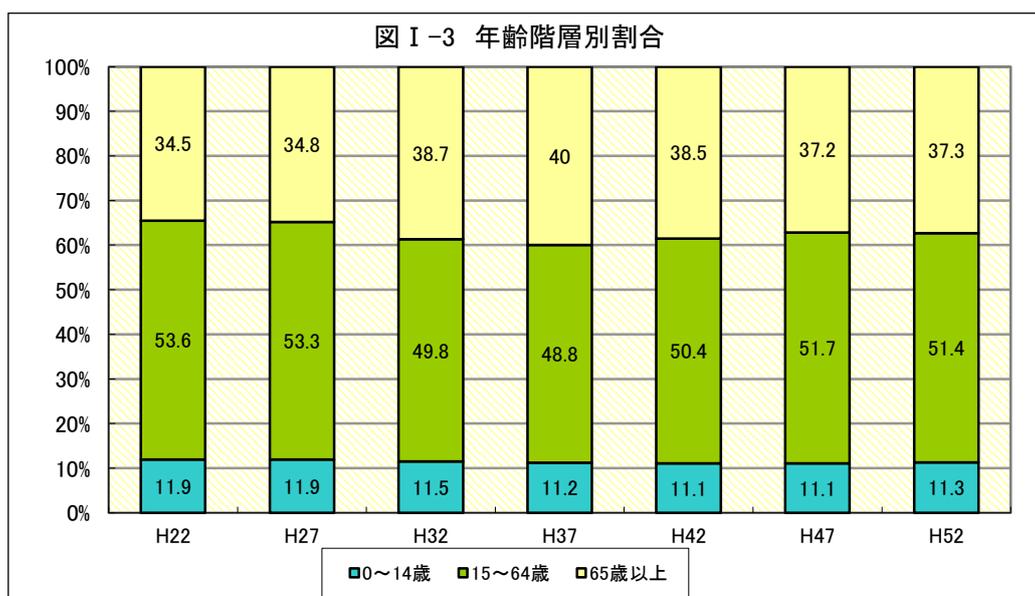


図 I-2 は、国立社会保障・人口問題研究所の推計による今後の総人口と年齢階層別人口の推移を表しています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後も人口は減少傾向が続き、平成 47 年から平成 52 年の間に人口は 1 万人を下回ると推計されています。



次に、平成 52 年までの総人口に占める年齢階層別の割合を見ると（図 I -3）、高齢化率は上昇を続け、平成 37 年には 65 歳以上の割合が 40%に達した後、徐々に低下すると推測されています。また、0~14 歳までの層は全人口のうち一定程度を維持し続けると推測されます。このことから、今後 10 年間は高齢化の進展により、介護や医療等の社会保障に要する費用が増えていくことが予測されます。その一方、主たる納税者である 15~64 歳の割合が 50%を下回るため、町税等が減少し、財政的に厳しい時期を迎えると予測されます。また、人口構成の変化により公共施設に求められる役割や機能にも、変化があると予測されます。



出典：国立社会保障人口問題研究所

<http://www.ipss.go.jp/>

(2) 財政状況

① 歳入・歳出決算の推移と今後の見込み

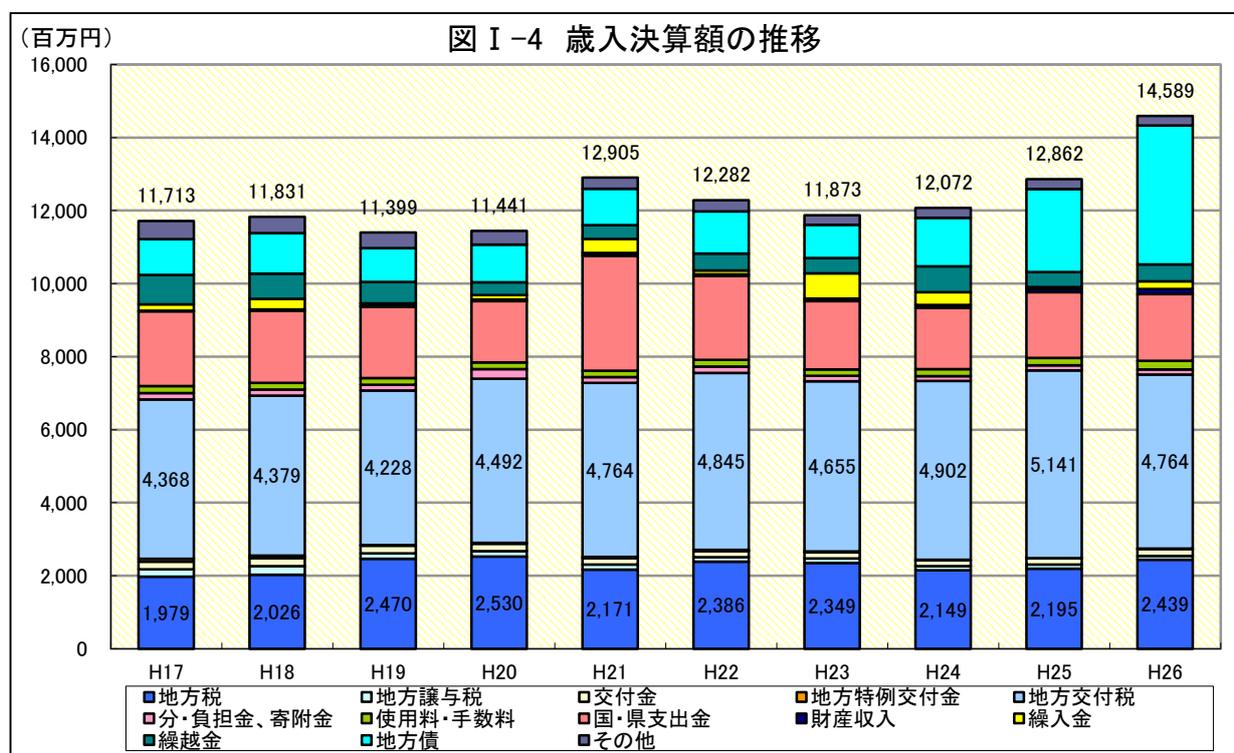


図 I-4 は、直近 10 年間の歳入を表しています。平成 26 年度における普通会計の歳入総額は 145 億 8,994 万円となっており、前年度と比較して 17 億 2,709 万円 (+13.4%) の増となっています。昨年度は、鏡野地域情報通信施設整備運営事業の財源として地方債を発行したために、歳入総額が大幅に増えています。

歳入は合併後、おおむね 120 億円前後で推移しています。平成 26 年度の歳入の主な内訳としては、町税が 24 億 3,902 万円、地方交付税が 47 億 6,351 万円、地方債が 38 億 4,058 万円となっています。歳入に占める町税の割合は 16.7%と低く、地方交付税が 32.7%となっています。昨年度は、上記のとおり地方債を 38.4 億円発行したために、地方債の占める割合が高くなっていますが、町税が歳入に占める割合は 20%前後、地方交付税は 40%前後で合併後推移しています。

上記のとおり歳入の約 40%を占めてきた地方交付税ですが、合併後 10 年が経ち、合併特例措置の期限を迎え、段階的に減額していくことになっています。

※普通会計：一般会計と公営企業会計を除く特別会計を合算したもの。鏡野町における普通会計の範囲は、一般会計、津山・富線共同バス運行事業特別会計、奨学会特別会計、越畑専用水道特別会計。

歳入：自治体における収入を指す。町税や地方交付税、使用料のほか地方債など。

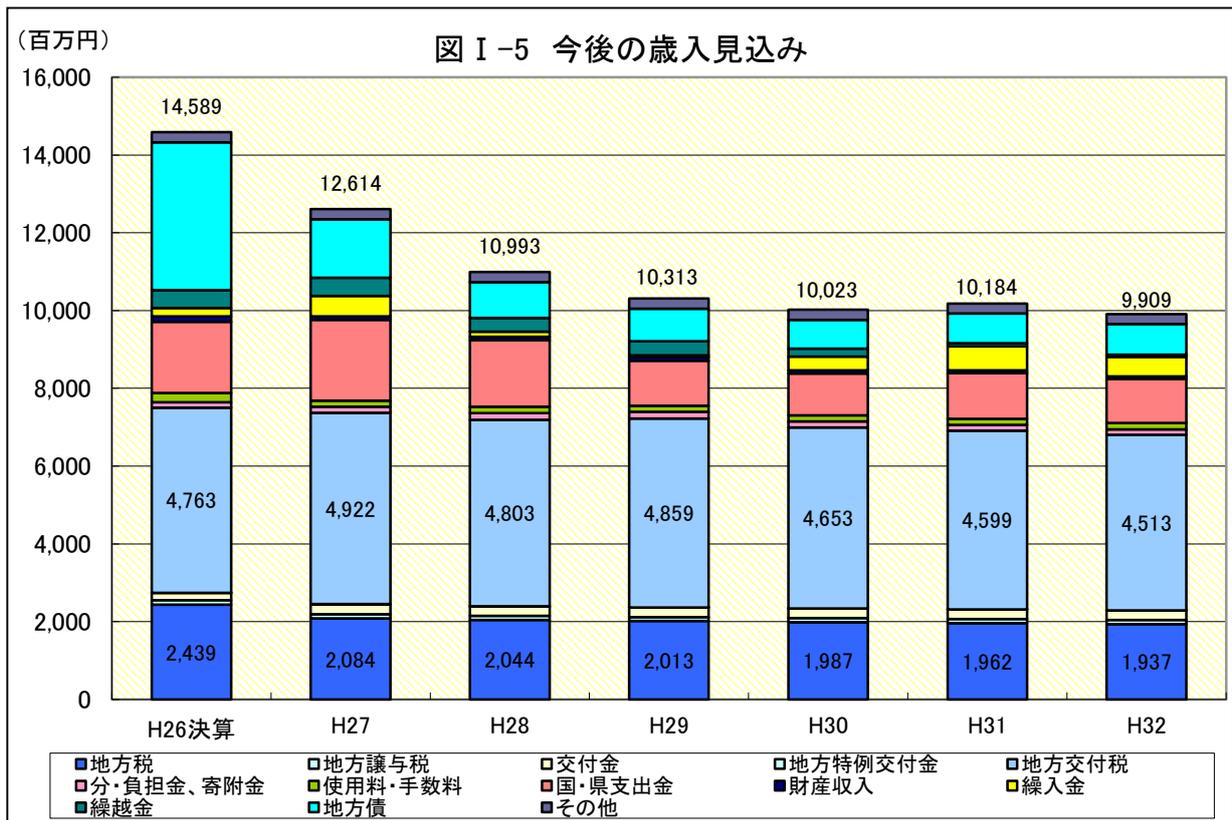


図 I -5 は、今後の歳入の見込みを示しています。人口減少による町税の減少、合併特例措置の終了による地方交付税の減額等により、5年後には、歳入が100億円を下回る（H26年度比△31.5%）と推測しています。また、歳入の減少により基金の取崩しによる繰入金の割合が増えるものと推測しています。一方で、地方交付税はあまり減少しないように見えますが、これは平成25年度からの鏡野地域情報通信施設整備運営事業の財源として発行した合併特例債の償還が始まることによる交付税措置によるものであり、既に用途が決まっており、全額を自由に使えるわけではありません。

歳入が減少する一方で、用途が決まってしまっているため、今まで以上に新規事業の予算を確保することが難しくなると推測されます。

※地方交付税：一定水準の行政サービスを提供するための支出を、税収等でまかなえない自治体に対し、国から交付される収入。

合併特例債：地方債の一種で返済額の70%が地方交付税で補てんされる。

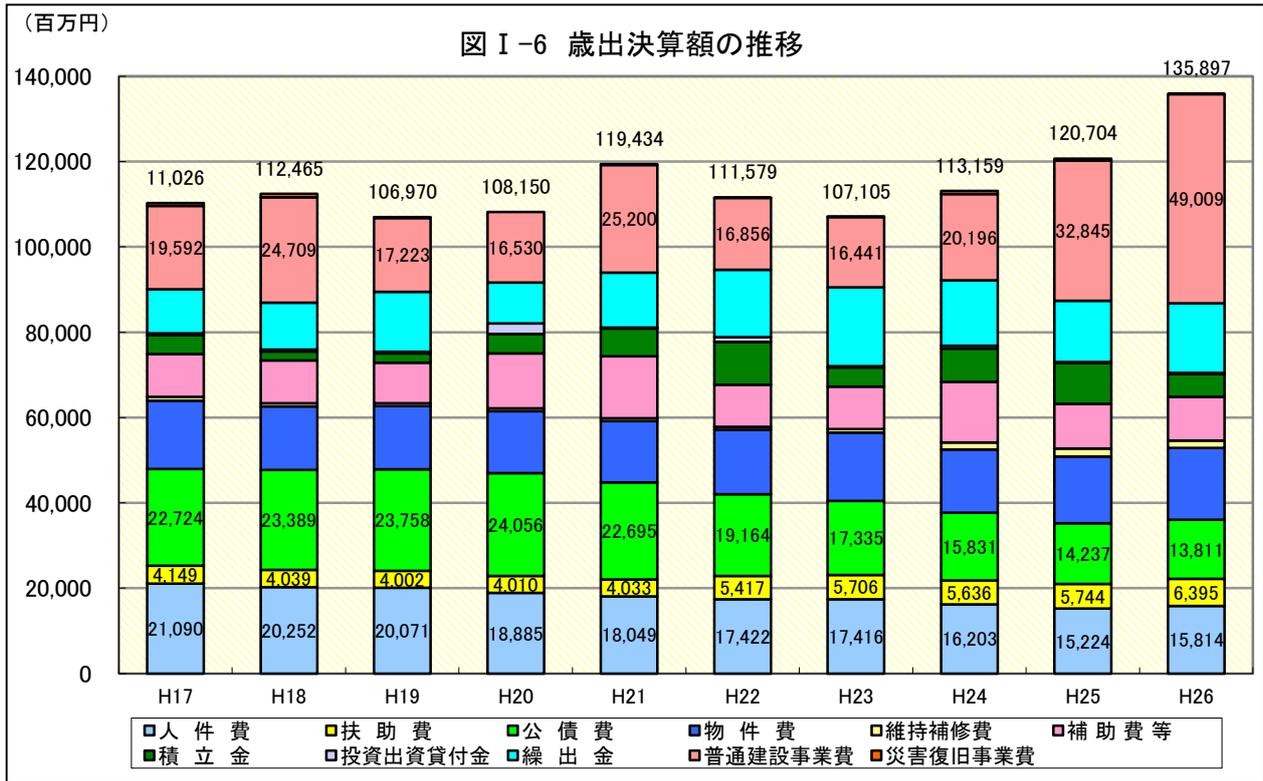


図 I -6 は、合併後の歳出の推移を表しています。鏡野町の歳出は合併後、概ね 110 億円程度で推移していましたが、平成 26 年度は前述のとおり情報通信施設整備事業を行ったために、135 億 9 千万円と合併後最大規模の決算となりました。

合併後は財政の健全化に努めてきており、義務的経費といわれる人件費、公債費の支出額は段階的に減ってきています。その一方で、社会保障に係る経費である扶助費は増えてきています。また、合併時に比べ介護保険、下水道（農業集落排水、林業集落排水を含む）等の特別会計に対する繰出金の金額が増えてきています（図 I -7）。

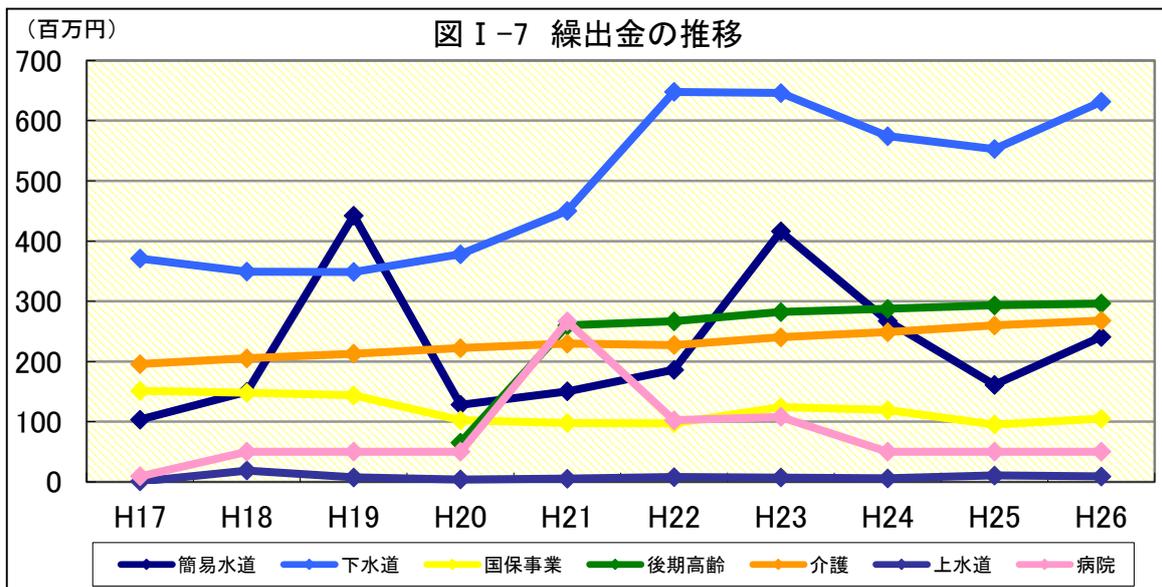
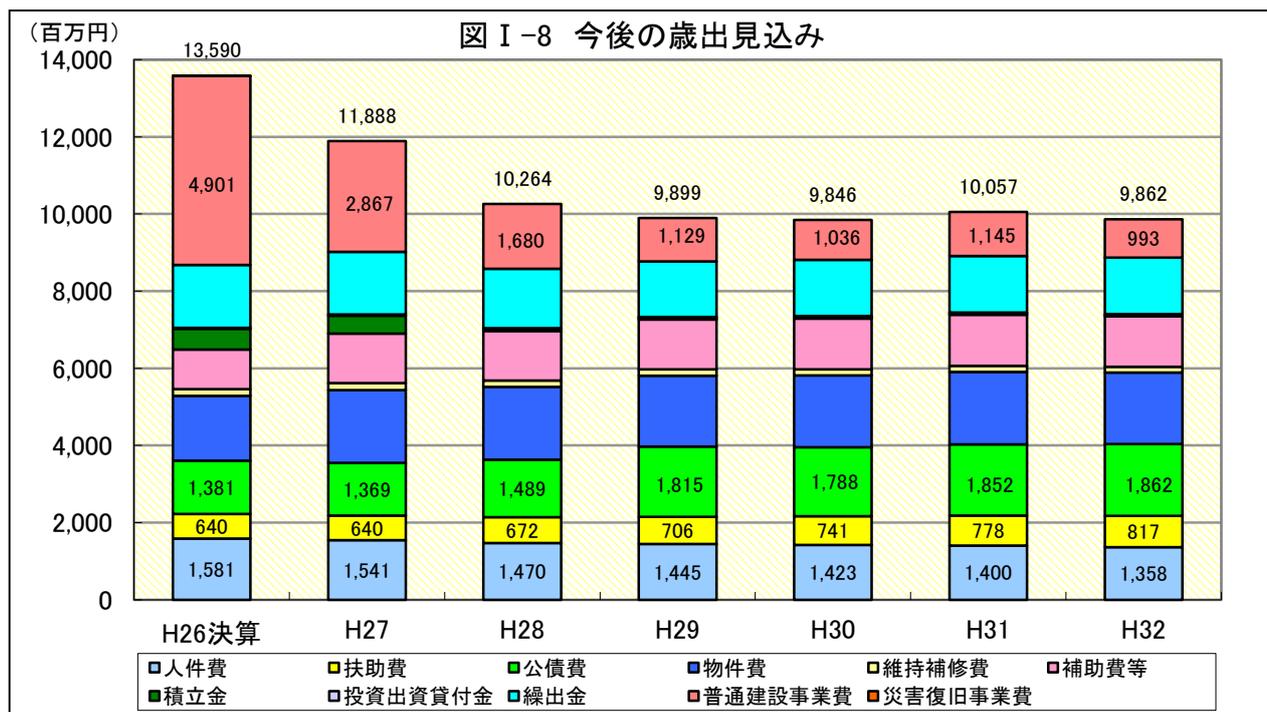


図 I -8 では、今後5年間の歳出見込みを表しています。人件費については、職員の退職により年齢層が下がるため、減少すると見込まれる一方で、今後も扶助費が増えていくと同時に、大型事業の際に発行した地方債の償還により公債費が増えるの見込んでいます。そのため、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）の割合が高まり、財政の硬直化が進行すると推測されます。また、財政が硬直化するため、基金への積立も難しくなる見込んでいます。

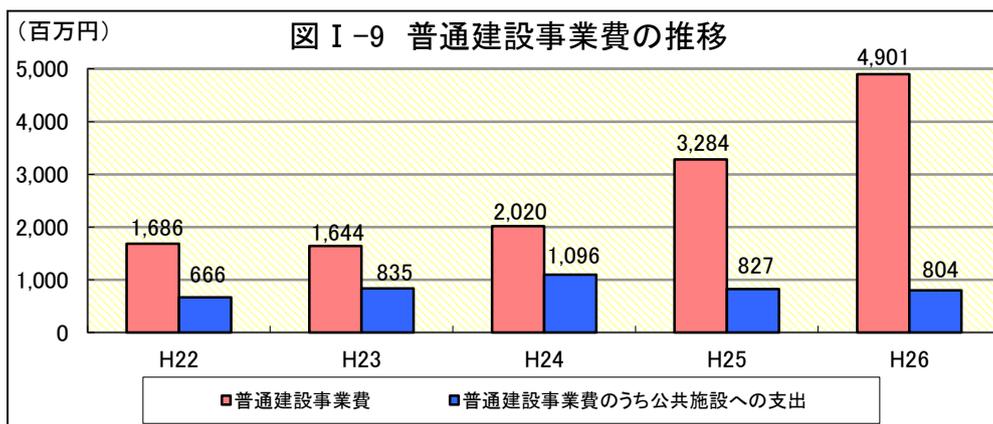
今後は、財政が硬直化する一方で、新たな政策課題にも対応しなければならないため、限られた資源を配分する政策の選択と集中が、より一層求められると考えられます。



② 普通建設事業費の推移

普通建設事業費とは、道路、橋梁、公共施設等の建設事業に要する経費の他、その支出により資本が形成され、将来にわたりサービスが提供される支出のことを指しています。

近年は、認定こども園芳野保育園の新築や鏡野地域情報通信施設整備運営事業を行っているため普通建設事業費が増加しています。また、施設を新しく整備するだけでなく、観光施設や、小学校の改修なども行っています。過去5年間の普通建設事業費のうち、公共施設へ支出した普通建設事業費の平均は8.5億円となっています（図 I -9）。公共施設を更新していくためには、この予算を確保することが必要となります。



第2章 施設等の状況

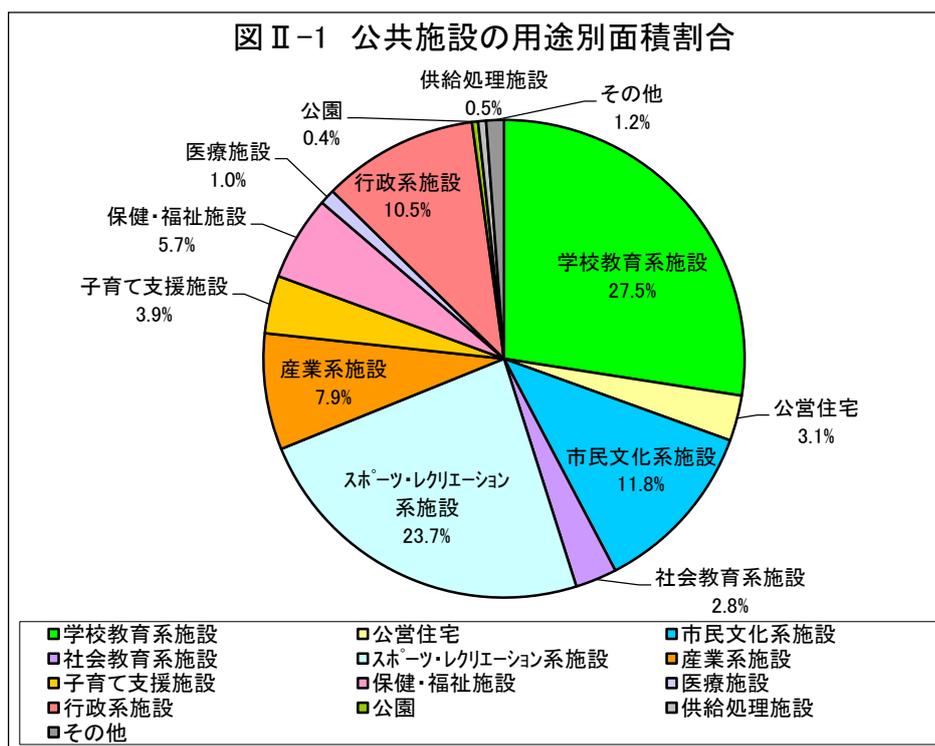
(1) 公共施設建物の延床面積の割合

この公共施設白書で取り扱う公共施設は、用途別に次のように分類することとし、公営企業会計に属する施設、インフラ系施設は対象外としています。

分類	主な施設
行政系施設	庁舎、消防機庫、除雪基地等
学校教育施設	小学校、中学校、給食調理場
公営住宅	町営住宅
市民文化系施設	公民館、集会所、コミュニティハウス
社会教育系施設	図書館、歴史資料館
スポーツ・レクリエーション系施設	観光施設、スポーツ施設等
産業系施設	農業施設等
子育て支援施設	幼稚園、保育園、放課後児童クラブ
保健・福祉施設	保健センター、福祉センター
医療施設	診療所
公園	公園施設
供給処理施設	北部クリーンセンター
その他	公衆トイレ、遊休施設等

鏡野町が所有する公共施設建物（上下水道施設、国民健康保険病院を除く）の延床面積を合計すると、179,293 m²になります。町民一人あたりの保有面積は 13.12 m²/人となります。

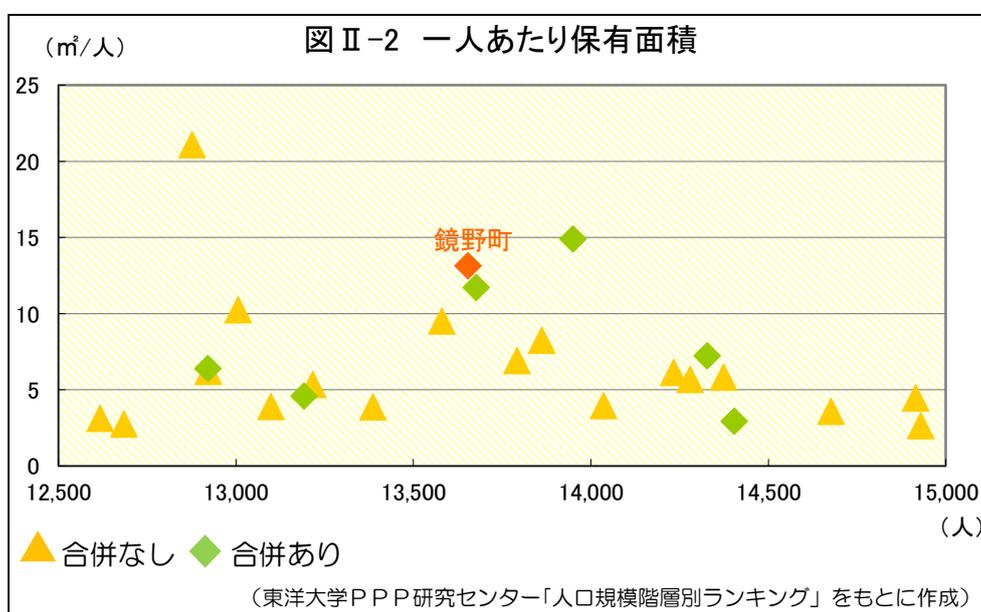
図Ⅱ-1 は、公共施設の用途別に分類した割合を示しています。



公共施設の用途別にみると、学校教育施設が27.5%と一番多く、その次にスポーツ・レクリエーション系施設が23.7%となっています。都市部では、学校教育施設の次に公営住宅の割合が多くなる傾向がありますが、鏡野町はスポーツ・レクリエーション系施設が多い点特徴的であり、自然環境を活かした観光施設を多く整備していることがわかります。また、鏡野町の主要な産業は農業であることから、産業系施設の割合も多くなっています。

(2) 一人あたり保有面積の状況

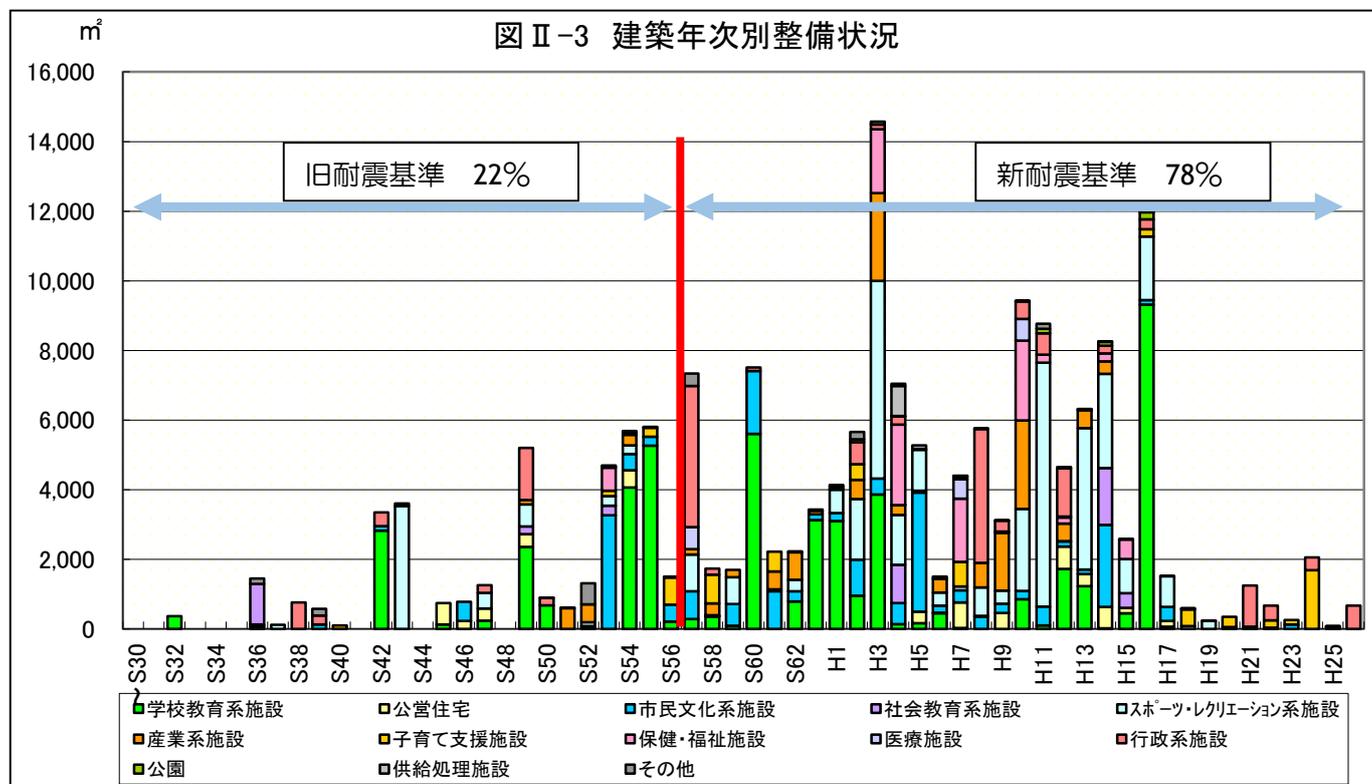
公共施設の保有状況について、鏡野町と人口が同規模（10,000～15,000人）の自治体と「住民一人あたりの保有面積（総延床面積÷人口）」を比較する（図Ⅱ-2）と、比較団体の平均が6.71㎡/人であるのに対し、鏡野町は13.12㎡/人と非常に高い水準にあります。また、比較団体のうち合併を行った団体の平均7.96㎡/人と比べても高い水準にあります。



全国的に人口が少なく、合併を行った自治体は公共施設の保有量が多くなる傾向にあり、鏡野町も公共施設の保有量が非常に多いことがわかります。今後は、他自治体と比べて施設の総量が多いことから、公共施設の維持・更新費用が嵩み、重い負担になる可能性があります。

(3) 建築年次別整備状況

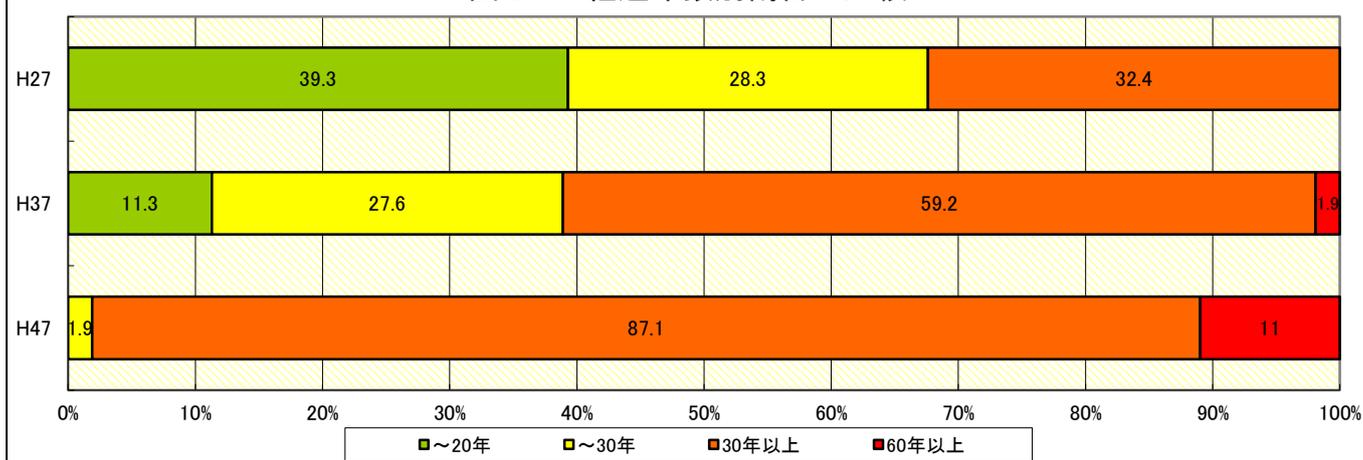
これまでに整備してきた公共施設の延床面積を、建築年別に表すと次のグラフ（図Ⅱ-3）になります（建築年次が不明な施設は除いています）。



このグラフを見ると、鏡野町では昭和 60 年以降にスポーツ・レクリエーション系施設を含め多くの施設を整備してきていることがわかります。特に平成 3 年には、奥津小学校、老人福祉センター、文化スポーツセンターといった大きな施設が整備されています。これらの施設のうち、新耐震基準の昭和 57 年以降に整備された施設は全体の 78%、旧耐震基準の昭和 56 年以前に整備された施設は全体の 22%となっています。旧耐震基準の施設のうち学校については、耐震診断・耐震改修を行っています。上齋原振興センター、富振興センター等で耐震性の確保ができていない状況です。

また、建物は建築後 30 年程度で大規模改修を、60 年程度で建て替えを行わなければならないと言われていています。図Ⅱ-4 では、今後 20 年間に建築後 30 年を経過する建物の割合を比較しています。

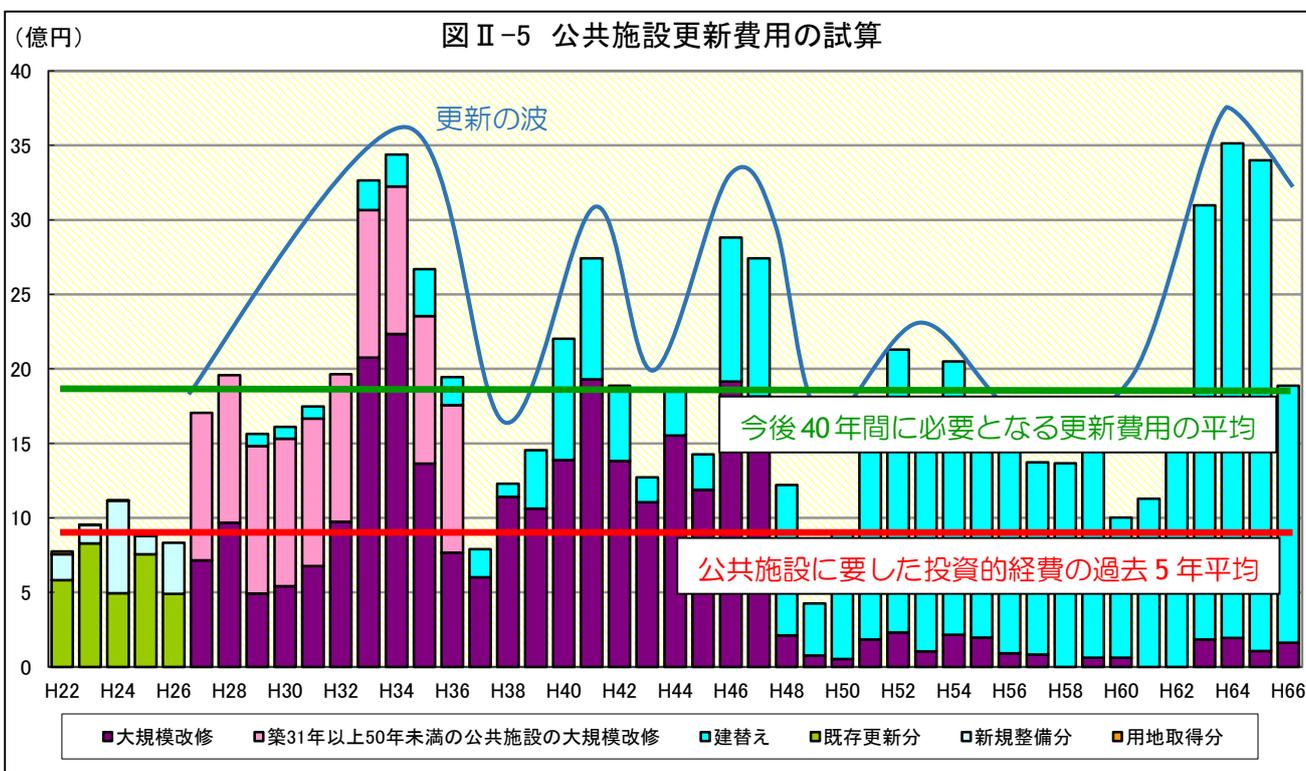
図Ⅱ-4 経過年数別割合の比較



現在は建築後30年を経過した施設の割合は32.4%ですが、2025年には59.2%にまで上昇します。また、2035年には建築後60年を経過する施設の割合が11%となり、建て替えも必要となります。今後20年間に一斉に改修時期を迎えることがわかります。

(4) 公共施設の更新費用の試算

現在保有している公共施設を、そのままの面積で更新するとした場合に、今後どのくらい費用が必要になるのかを試算する(図Ⅱ-5)と、その費用の総額は40年間で751.8億円となり、年平均では18.8億円となりました。過去5年間の公共施設に係る普通建設事業費の平均が8.5億円でしたので、2倍以上の予算が必要と試算されます。



また、更新費用は年度によりバラつきがあり、最大で過去5年間の投資的経費の平均の4.1倍にもなります。そのため、このグラフのとおり公共施設の改修・建て替えを行うことは、非常に困難であると考えます。

第3章 個別施設の状況

(1) 用途別公共施設の状況について

① 行政系施設

行政系施設は、役場庁舎、消防機庫、除雪基地等が56施設、延床面積は18,809.93㎡あります。これらの施設のうち建築後30年を経過している建物の延床面積の割合は41.4%です。

行政系施設	所在地	代表建築年	延床面積 (㎡)
鏡野町役場	鏡野町竹田 660	1982	4,510.63
下原コミュニティ消防センター	鏡野町下原 1213-8	1997	64.03
河本コミュニティ消防センター	鏡野町河本 415-6	1998	64.03
近衛地区コミュニティ消防センター	鏡野町中谷 4398-1	1999	64.03
越畑コミュニティ消防センター	鏡野町越畑 70-2	2000	67
沖・沢田地区コミュニティ消防センター	鏡野町沢田 362-4	2002	64.03
真加部コミュニティ消防センター	鏡野町宗枝 48-3	2004	64.03
入コミュニティ消防センター	鏡野町入 834-1	2004	69.86
越畑除雪車庫	鏡野町越畑 120-1	1999	100.71
ペスタロッジ館 (執務室)	鏡野町竹田 663-7	2002	155.26
奥津振興センター	鏡野町井坂 495	1996	4,090.31
奥津方面隊本部機庫	鏡野町井坂 495	1996	119
羽出分団消防機庫	鏡野町羽出 714-2	1998	72.72
泉分団消防機庫	鏡野町女原 113-4	1995	79.49
奥津分団消防機庫	鏡野町奥津川西 276-4	1997	72.87
除雪車庫 1	鏡野町羽出 680-7	1992	89.1
除雪車庫 2	鏡野町羽出 680-8	1983	73.02
除雪車庫 3	鏡野町羽出 692-1	1990	72
奥津中学校スクールバス・除雪車庫 4	鏡野町井坂 220-1	1992	127
除雪車庫 5	鏡野町井坂 222-1	1989	36.96
羽出中央消防機庫	鏡野町羽出 692-1	1978	33
奥津除雪基地	鏡野町奥津川西 739-1	2010	419.66
上齋原振興センター	鏡野町上齋原 514-1	1972	2,205.03
オフサイトセンター	鏡野町上齋原 514-1	2000	1,279.37
消防機庫 本部詰所	鏡野町上齋原 514-1	1990	69
郷橋消防機庫	鏡野町上齋原 193	1983	30.5
寺ヶ原消防機庫	鏡野町上齋原 942	1991	17.5
木路消防機庫	鏡野町上齋原 805-12	1985	16.2

石越消防機庫	鏡野町上齋原 1379-1	1987	30.5
赤和瀬消防機庫	鏡野町上齋原 1676-2	1979	12
中津河消防機庫	鏡野町上齋原 1807-1	1997	10
遠藤消防機庫	鏡野町上齋原 2170-142	1992	16.7
宮ヶ谷消防機庫	鏡野町上齋原 2061-1	1979	20
赤和瀬除雪車庫	鏡野町上齋原 1676-2	1999	71.5
本村除雪車庫	鏡野町上齋原 688	1967	392.4
小林除雪車庫	鏡野町上齋原 1984-3	1975	207.2
遠藤除雪車庫	鏡野町上齋原 2170-1092	2004	54
石越除雪車庫	鏡野町上齋原 1378-1	1964	254
平作原老人ふれあいセンター(消防機庫)	鏡野町上齋原 1875-55	1999	34.68
小林老人憩の家(消防機庫)	鏡野町上齋原 1958-1	1989	12.61
上齋原除雪基地	鏡野町上齋原 1182-3	2009	1,181.3
富振興センター	鏡野町富西谷 125-1	1963	875.78
重機車庫	鏡野町富西谷 89-2	1991	119
バス車庫	鏡野町富西谷 95-3	1997	167
公用車庫 3	鏡野町富西谷 95-3	1999	127.68
公用車庫 2	鏡野町富西谷 128-1	1999	159.18
宮原消防機庫	鏡野町富西谷 187-3	1982	41.25
湯原消防機庫	鏡野町富東谷 648-5	1982	38.58
重定消防機庫	鏡野町富東谷 1271-1	1983	27.3
浜消防機庫	鏡野町富仲間 332-4	1980	19.32
余川消防機庫	鏡野町富西谷 2302-3	1981	23.1
大消防機庫	鏡野町大 288-4	1994	60
篠坂消防機庫	鏡野町富西谷 1308-4	1983	27.3
やませみ情報局	鏡野町富西谷 193-1	1999	184.29
大原消防機庫	鏡野町富東谷 144	1976	21.02
富除雪基地	鏡野町富西谷 742-1	2014	495.9

②学校教育系施設

学校教育系施設は、小学校、中学校等が 18 施設、延床面積は 49,222.54 m²あります。これらの施設のうち建築後 30 年を経過している建物の延床面積の割合は 46%です。

学校教育施設	所在地	代表建築年	延床面積 (m ²)
南小学校	鏡野町古川 50-1	1985	5,493.33
大野小学校	鏡野町円宗寺 825	1988	4,169.38
鶴喜小学校	鏡野町下森原 405	1979	3,706.15
香々美小学校	鏡野町香々美 828-2	1989	2,997.79
香北小学校	鏡野町真経 730	1974	1,388.17
鏡野中学校	鏡野町竹田 610	2004	11,121.07
鏡野町学校給食調理場	鏡野町竹田 610	2004	907.33

奥津小学校	鏡野町女原 79-2	1991	3,975.94
奥津中学校	鏡野町井坂 231	1967	3,083.6
旧学校給食調理場	鏡野町井坂 231	1967	194.75
学校給食調理場	鏡野町女原 79-2	1994	447.12
柔剣道場	鏡野町井坂 231	1972	240
羽出西谷スクールバス車庫	鏡野町羽出西谷 1473-4	1987	30.37
泉源スクールバス車庫	鏡野町羽出 1832-1	1984	69.75
上齋原総合教育施設	鏡野町上齋原 1320	1980	5,774.17
教職員宿舎	鏡野町富西谷 129	1974	516.56
富小学校	鏡野町富西谷 581-1	2000	3,395.3
富中学校	鏡野町富西谷 245-1	1979	1,711.76

③公営住宅

公営住宅は 12 施設、延床面積は 5,516.27 m²あります。これらの施設のうち建築後 30 年を経過している建物の延床面積の割合は 37.5%です。

公営住宅	所在地	代表建築年	延床面積 (m ²)
町営住宅 芳野団地	鏡野町吉原 421-2	1970	175.76
町営住宅 竹田団地	鏡野町竹田 430-1	1970	263.64
町営住宅 小座団地	鏡野町小座 784	1970	760.31
町営住宅 円宗寺団地	鏡野町円宗寺 1406	1974	365.1
町営住宅 湯の坂団地	鏡野町奥津 275-1	1979	501.8
町営住宅 細田団地	鏡野町奥津川西 745-1	2000	473.06
町営住宅 羽出団地	鏡野町羽出 1313-5	2005	159.22
町営住宅 女原団地	鏡野町女原 32-5	2003	150.44
町営住宅 寺ヶ原団地	鏡野町上齋原 976-2	1993	498.18
町営住宅 中原団地	鏡野町上齋原 271-1	2000	515.57
町営住宅 ヴィラヤマセミ	鏡野町富東谷 414-10	1995	1,046.29
町営住宅 エコロマンの丘	鏡野町富西谷 169-7	2002	606.9

④市民文化系施設

市民文化系施設は、公民館、コミュニティハウス等が 80 施設、延床面積は 21,136.24 m²あります。これらの施設のうち建築後 30 年を経過している建物の延床面積の割合は 41%です。

市民文化系施設	所在地	代表建築年	延床面積 (m ²)
中央公民館	鏡野町竹田 660	1978	2,041.88
芳野公民館	鏡野町古川 427-1	1986	619.55
大野公民館	鏡野町円宗寺 1432-1	1984	564
小田公民館	鏡野町下森原 240-1	1985	537.64

中谷公民館	鏡野町中谷 185	1961	505.95
香南公民館	鏡野町香々美 837-1	1993	542.03
香北公民館	鏡野町真経 730	1981	255.95
郷公民館	鏡野町薪森原 721-1	1992	601.01
ほたる館	鏡野町薪森原 643-3	1980	310.72
ペスタロッツ館（夢ホール）	鏡野町竹田 663-7	2002	2,201.76
真加部共同作業所	鏡野町真加部 1302	1987	46.4
下原下共同作業所	鏡野町下原 1289-1	1988	58.21
薪森原共同作業所	鏡野町薪森原 546-1	1989	69.86
上森原共同作業所	鏡野町上森原 345-2	1990	81.5
古川共同作業所	鏡野町古川	1991	87.32
上土居共同作業所	鏡野町土居 274-1	1991	87.4
馬場共同作業所	鏡野町馬場 201	1993	58.21
入共同作業所	鏡野町入 752	1994	54.79
下円共同作業所	鏡野町円宗寺 651	1995	139.95
高齢者いきがいセンター	鏡野町寺元 359-1	1999	189.12
高齢者かたらいセンター	鏡野町竹田 164-10	2000	145.53
越畑デイサービスホーム	鏡野町越畑 300	1995	30.37
真経デイサービスホーム	鏡野町真経 247-3	1995	24.5
塚谷コミュニティハウス	鏡野町塚谷 753-6	1985	164.56
下森原コミュニティハウス	鏡野町下森原 239-2	1986	75.95
下原上コミュニティハウス	鏡野町下原 460-16	1988	106.4
下原下コミュニティハウス	鏡野町下原 1300-2	2011	129
下土居コミュニティハウス	鏡野町土居 947	1994	98.96
薪森原コミュニティハウス	鏡野町薪森原 1016-4	1994	51.14
岩屋コミュニティハウス	鏡野町岩屋 708-1	1996	102.84
大町リフレッシュセンター	鏡野町大町 755-3	1996	122.74
新町中組常会集会所	鏡野町香々美 465-2	不明	87.72
近衛コミュニティハウス	鏡野町中谷 4398-1	1982	314.16
極楽コミュニティハウス	鏡野町上森原 773-1	1979	248.1
吉原教育集会所	鏡野町吉原 640-1	1967	128.07
薪森原教育集会所	鏡野町薪森原 150-1	1985	147.95
河本教育集会所	鏡野町薪森原 742-1	1987	157.42
小座教育集会所	鏡野町小座 695-1	1986	157.42
川西コミュニティハウス	鏡野町奥津川西 278-2	1996	122.82
奥津コミュニティハウス	鏡野町奥津 84-17	1997	195.02
養野コミュニティハウス	鏡野町養野 597	1977	48.02
井坂コミュニティハウス	鏡野町井坂 352	1991	78.61
女原コミュニティハウス	鏡野町女原 352	1991	81.22
阿曾コミュニティハウス	鏡野町羽出 182	1991	120.75
西屋コミュニティハウス	鏡野町西屋 149-5	1993	80.47
泉源コミュニティハウス	鏡野町羽出 1818-1	1978	132
神原コミュニティハウス	鏡野町羽出 1657-5	1980	79.42

羽出多目的集会所	鏡野町羽出 1210-1	1993	160.67
西谷上コミュニティハウス	鏡野町羽出西谷 1037-1	1993	85.74
西谷下コミュニティハウス	鏡野町羽出西谷 107	1979	89.44
下斎原コミュニティハウス	鏡野町下斎原 646	1987	93.35
細田コミュニティハウス	鏡野町奥津川西 708-2	1993	64.98
小畑コミュニティハウス	鏡野町奥津川西 128-6	1979	50.54
杉コミュニティハウス	鏡野町杉 870	1998	126.13
中分コミュニティハウス	鏡野町羽出 648-9	1999	91.8
至孝農コミュニティハウス	鏡野町至孝農 205-1	2002	103.04
箱コミュニティハウス	鏡野町箱 134-1	2002	40.59
長藤コミュニティハウス	鏡野町長藤 146-1	2004	116.43
羽出健康増進センター（各種団体集会所）	鏡野町羽出 688-2	1979	74.51
羽出公民館	鏡野町羽出 691	1990	900.41
奥津公民館	鏡野町奥津川西 725-1	1985	753
泉公民館	鏡野町女原 65	1978	1,089.14
上齋原文化センター	鏡野町上齋原 409	1993	2,428.78
第1区集会所	鏡野町上齋原 158-7	2005	195.9
第3区集会所	鏡野町上齋原 906-5	2005	207.63
石越集会所	鏡野町上齋原 1378-1	1964	129.18
平作原老人ふれあいセンター	鏡野町上齋原 1875-55	1999	139.71
小林老人憩の家	鏡野町上齋原 1958-1	1989	91.19
遠藤老人憩の家	鏡野町上齋原 2170-131	1982	131.95
赤和瀬老人憩の家	鏡野町上齋原 1676-2	1986	161.05
上齋原総合福祉センター（コミュニティセンター）	鏡野町上齋原 480-1	1995	150.79
富公民館	鏡野町富西谷 124	1971	550.1
大生活改善センター	鏡野町大 248-4	1981	233.47
清水集会所	鏡野町富西谷 619	1984	66.4
恵堂集会所	鏡野町富東谷 1271-1	1985	108.67
余川集会所	鏡野町富西谷 2353-1	1985	108
篠坂いこいの家	鏡野町富西谷 1308-3	1990	50.97
大原コミュニティハウス	鏡野町富東谷 166-2	1986	72.77
大倉いこいの家	鏡野町富西谷 1498-5	1989	71
コミュニティ高森	鏡野町富東谷 648-2	1998	114.5

⑤社会教育系施設

社会教育系施設は、図書館、歴史資料館等が 11 施設、延床面積は 5,100.10 m²あります。これらの施設のうち建築後 30 年を経過している建物の延床面積の割合は 32.4%です。

社会教育系施設	所在地	代表建築年	延床面積 (m ²)
歴史資料館	鏡野町竹田 660	1978	278.24

郷土館	鏡野町寺和田 1451	1974	226.1
郷小学校記念館	鏡野町薪森原 721-1	1992	132.49
ペスタロッヂ館	鏡野町竹田 663-7	2002	1,251
文化資源保存伝習館	鏡野町羽出 691	1992	970.84
奥津歴史資料館	鏡野町奥津 82-1	2002	384.52
奥津歴史資料館保管庫	鏡野町奥津川西 739-1	2003	422
旧森江家住宅	鏡野町富西谷 120-4	不明	87.1
たたら展示館	鏡野町富西谷 120-5	1993	51.84
木工陶芸館	鏡野町富西谷 118-1	1999	124.18
富教育歴史資料館	鏡野町富西谷 250	1961	1,171.79

⑥スポーツ・レクリエーション施設

スポーツ・レクリエーション施設は、体育館、プール、野球場、観光施設等が 59 施設、延床面積は 42,463.41 m²あります。これらの施設のうち建築後 30 年を経過している建物の延床面積の割合は 18%です。

スポーツ・レクリエーション施設	所在地	代表建築年	延床面積 (m ²)
鏡野町文化スポーツセンター (B&G 海洋センターを含む)	鏡野町竹田 158-1	1991	5,249.82
たたら記念館	鏡野町越畑 95-1	1977	69
ふるさと村民俗資料館	鏡野町越畑 96-1	1974	155.06
越畑ふるさとセンター	鏡野町越畑 61	1991	767.98
水車小屋	鏡野町越畑 209	1989	6.98
越畑公衆便所 1	鏡野町越畑 72-23	1979	9
越畑公衆便所 2	鏡野町越畑 72-14	1974	13.75
万葉の道	鏡野町香々美 1-1	1986	15.54
泉山登山口トイレ (中林の滝)	鏡野町大町 489-9	2001	2.7
古川ゲートボール場 休憩所・倉庫	鏡野町古川 433-1	2003	17.65
スポーツロッジかがみの	鏡野町竹田 647	1972	443.12
町民グラウンド	鏡野町入 108	1984	499.48
国民運動場テニスコート 倉庫	鏡野町竹田 621	2000	8.34
国民柔剣道場	鏡野町竹田 571-1	1974	462
鏡野ドーム	鏡野町竹田 124	2002	2499.37
泉山ヒュッテ	鏡野町大町 485-2	1997	24
ファームビレッジ耕心村	鏡野町長藤 142-1	1994	955.06
スノーモービルランド in ナチュラル 泉源	鏡野町羽出 1758-1	1996	499.53
花美人の里	鏡野町奥津川西 261	1999	5,007.49
道の駅 奥津温泉	鏡野町奥津 463	1998	732.73
レストラン大釣	鏡野町奥津川西 16-2	1982	975.44
星の里キャンプビレッジ	鏡野町奥津川西 512-2	1996	430.65

泉源園地	鏡野町羽出 1709-1	1990	115
奥津温泉公衆トイレ	鏡野町奥津 94-9	1991	30.46
奥津溪公衆トイレ	鏡野町奥津川西 16-1	1990	36.28
泉山養野登山口公衆トイレ	鏡野町養野 776-14	2004	5
泉山奥津登山口公衆トイレ	鏡野町奥津 546-17	2004	5.36
月出原観光農園	鏡野町羽出西谷 555-17	1996	942.72
みずの郷奥津湖総合案内所	鏡野町河内 60-8	2004	838.81
記念碑公園東屋	鏡野町久田下原 255-1	2004	6.28
奥津運動公園	鏡野町奥津 149-2	1979	267.21
奥津町民体育館	鏡野町井坂 237-4	1990	1,513.78
奥津ふれあい会館	鏡野町奥津 46-1	2006	87.22
町民浴場	鏡野町奥津 51-1	1962	122.8
奥津温泉足踏み洗濯場	鏡野町奥津 51-4	1998	5.54
奥津ゴルフ倶楽部	鏡野町奥津 677-1	2001	3,314.64
リフレッシュトイレ	鏡野町上齋原 514-1	1990	58.63
観光スポーツ施設	鏡野町上齋原 559-2	1991	585.05
屋内ゲートボール場	鏡野町上齋原 435-1	1998	1,573.07
青少年旅行村トイレ	鏡野町上齋原 2037-65	1993	33.12
岩井の滝公衆トイレ	鏡野町上齋原 1852-2	1987	16.5
うたたねの里	鏡野町上齋原 1805-12	1992	739.11
木作業所	鏡野町上齋原 695-3	1968	131.12
国民宿舎 いつき	鏡野町上齋原 437-1	1968	3,461.87
クアガーデン このか	鏡野町上齋原 446-1	1999	1,875.37
恩原高原スキー場パノラマゲレンデ	鏡野町上齋原 2037-137	1989	1,612.16
恩原高原スキー場レイクサイドゲレンデ	鏡野町上齋原 2037-90	1978	1,772.94
なごみ茶屋	鏡野町上齋原 514-1	1986	42
妖精の森 ガラス美術館	鏡野町上齋原 666-5	2004	723.86
恩原高原オートキャンプ場	鏡野町上齋原 2037-64	不明	230.6
伯州山荘	鏡野町上齋原 1785-2	1996	22.4
野鳥の森公衆トイレ	鏡野町上齋原 2154-4	1987	43
とみふれあいセンター	鏡野町富西谷 781-1	1993	998.59
五葉邸	鏡野町富西谷 162-2	不明	226.58
富運動公園	鏡野町富西谷 799	1983	304.68
白賀溪谷東屋・トイレ	鏡野町富西谷 384-4	2007	44
のとり原キャンプ場	鏡野町富西谷 2091-10	1977	912.79
のとり温泉	鏡野町富西谷 2091-10	2002	434.75
のとり館	鏡野町富西谷 2091-10	2003	485.43

⑦産業系施設

産業系施設は、夢広場、農業センター等が 46 施設、延床面積は 14,116.49 m²あります。これらの施設のうち建築後 30 年を経過している建物の延床面積の割合は 17%です。

産業系施設	所在地	代表建築年	延床面積 (㎡)
夢広場	鏡野町円宗寺 233	1997	1,372.9
薪森原共同作業所	鏡野町薪森原 36-2	1977	440.8
河本・薪森原・下原共同作業所	鏡野町薪森原 36-2	1983	126
和田・円宗寺・貞永寺共同作業所 1	鏡野町円宗寺 1217-1	1988	60
和田・円宗寺・貞永寺共同作業所 2	鏡野町円宗寺 1218-3	1986	138.14
市場・香下共同作業所	鏡野町香々美 1241-5	1982	97.31
岸元共同作業所	鏡野町小座 830	1986	60
和田共同作業所	鏡野町和田 602-2	1965	99
寺元農機具保管庫	鏡野町寺元 388-5	1976	45
和田農機具保管庫	鏡野町和田 311-1	1977	80
河本農機具保管庫	鏡野町薪森原 760-2	1982	96
吉原農機具保管庫	鏡野町吉原 585	1983	68.87
岸元農機具保管庫	鏡野町小座 580-8	1983	75.83
王子農機具保管庫	鏡野町小座 314-3	1984	59.03
下原農機具保管庫	鏡野町下原 1395-7	1984	44.3
貞永寺農機具保管庫	鏡野町貞永寺 870-2	1986	88
市場農機具保管庫	鏡野町市場 42-1	1986	48
上円宗寺農機具保管庫 1	鏡野町和田 631-1	1986	48
上円宗寺農機具保管庫 2	鏡野町円宗寺 1228-2	1990	42
高山農機具保管庫	鏡野町高山 123-2	1986	48
山城農機具保管庫	鏡野町山城 1019-6	1986	48
薪森農機具保管庫	鏡野町薪森原 37-1	1986	80
香下農機具保管庫	鏡野町香々美 981-7	1987	48
塚谷農機具保管庫	鏡野町塚谷 623-5	1989	39.6
高山・河本・薪森原・下原農機具保管庫	鏡野町薪森原 171-2	1990	116.27
高山・河本・薪森原・下原共同育苗施設	鏡野町薪森原 811-3	1987	304.28
下森原農機具保管庫	鏡野町下森原 341-5	1991	48
花菜館	鏡野町井坂 523-14	1994	399.29
味彩館	鏡野町井坂 523-1	1996	745.62
水稻共同育苗施設	鏡野町羽出 417-40	1998	2,538.53
共同乾燥調製施設	鏡野町羽出 506-9	2001	514
農業センター	鏡野町羽出 506-3	1984	296.96
農林産物生産加工センター	鏡野町上齋原 519-1	1990	350
木工体験交流施設	鏡野町上齋原 1144-4	不明	178.51
恩原牧場管理事務所	鏡野町上齋原 2037-135	1997	453.6
富農林水産物処理加工場	鏡野町富東谷 414-1	1976	501.3
淡水魚養殖施設	鏡野町富西谷 363-2	1976	50
ひらめ種苗センター	鏡野町富東谷 915-2	1979	223.57
高齢者センター	鏡野町富西谷 1-5	1987	431.21
富公共育成牧場	鏡野町富西谷 1108-8	1991	2,650.23
製材所	鏡野町富西谷 123-4	2000	456.18

林業機械保管庫	鏡野町富西谷 123-4	1979	72
ファーム登美	鏡野町富西谷 268-1	不明	132.49
ひらめロッジ	鏡野町富西谷 1-6	1983	67
木炭粉碎施設	鏡野町富東谷 1013	1992	108.67
富第一淡水魚種苗センター	鏡野町富西谷 336-3	1974	126

⑧子育て支援施設

子育て支援施設は、幼稚園、保育園、放課後児童クラブ等が 16 施設、延床面積は 7016.38 m²あります。これらの施設のうち建築後 30 年を経過している建物の延床面積の割合は 30% です。

子育て支援施設	所在地	代表建築年	延床面積 (m ²)
認定こども園芳野保育園	鏡野町古川 474-1	2012	1,720
鏡野町子育て支援センター	鏡野町竹田 158-1	2008	293.37
大野保育園	鏡野町円宗寺 1057	1978	925.66
鶴喜保育園	鏡野町下森原 290-1	1983	829.28
香南保育園	鏡野町香々美 834-1	1986	562.02
郷幼稚園	鏡野町薪森原 721-1	1990	455.37
奥津保育園	鏡野町女原 113-4	1995	700.48
上齋原幼稚園	鏡野町上齋原 1320	1980	260.41
親子ふれあい交流館	鏡野町上齋原 1304-2	2004	209
富保育園	鏡野町富西谷 120-2	2006	477.5
南学区放課後児童クラブ	鏡野町古川 50-1	2010	216
大野学区放課後児童クラブ	鏡野町円宗寺 825	2009	63.18
鶴喜学区放課後児童クラブ	鏡野町下森原 405	2011	130.98
香々美学区放課後児童クラブ	鏡野町香々美 828	1990	19.7
奥津学区放課後児童クラブ	鏡野町女原 32-8	不明	95.83
富学区放課後児童クラブ	鏡野町富西谷 250	1961	57.6

⑨保健福祉施設

保健福祉施設は、保健センター、福祉センター等が 12 施設、延床面積は 10,243.4 m²あります。これらの施設のうち建築後 30 年を経過している建物の延床面積の割合は 7.2% です。

保健・福祉施設	所在地	代表建築年	延床面積 (m ²)
保健センター	鏡野町竹田 660	1978	400.21
老人憩いの家	鏡野町竹田 660	1978	202.5
老人福祉センター (かがみの園を含む)	鏡野町古川 439-1	1991	4,434.34
泉ピリヤード場	鏡野町女原 113-4	1978	56.8
屋内コミュニティ施設	鏡野町女原 32-1	2003	551.03
奥津ふれあいいきいきサロン	鏡野町奥津川西 738-2	1999	161.61

羽出ふれあいの里生きがいデイセンター	鏡野町羽出 690	2000	168.33
羽出健康増進センター	鏡野町羽出 688-2	1979	78.11
上齋原総合福祉センター	鏡野町上齋原 480-1	1995	1,827.03
伝統工芸伝習場	鏡野町上齋原 480-1	1999	66.25
富総合福祉センター	鏡野町富西谷 119	1998	2,297.19

⑩医療施設

医療施設は、診療所が 3 施設、延床面積は 1852.42 m²あります。これらの施設のうち建築後 30 年を経過している建物の延床面積の割合は 34.2%です。

医療施設	所在地	代表建築年	延床面積 (m ²)
国民健康保険奥津診療所 (歯科を含む)	鏡野町女原 90-1	1982	665.11
国民健康保険上齋原診療所 (歯科を含む)	鏡野町上齋原 480-1	1995	559.86
国民健康保険富診療所 (歯科を含む)	鏡野町富西谷 119	1998	627.45

⑪公園施設

公園施設は、15 施設、延床面積は 726.83 m²あります。これらの施設のうち建築後 30 年を経過している建物の延床面積の割合は 1.2%です。

公園	所在地	代表建築年	延床面積 (m ²)
男女山公園	鏡野町円宗寺 1554-2	1990	96.5
ふれあい交流広場	鏡野町円宗寺 230	2002	110.64
健康づくり公園	鏡野町上森原 298	2004	94.02
塚谷公園	鏡野町塚谷 150	2004	124.36
極楽寺池公園	鏡野町上森原 593	2001	13.41
大峪池公園	鏡野町真加部 1076	2003	17.37
湯指コミュニティ広場	鏡野町中谷 437-1	1991	4.84
近衛地区東屋	鏡野町中谷 4321-1	2000	19.31
男山公園	鏡野町土居 1360-1	1975	17.7
羽出農村公園	鏡野町羽出 1287	1993	33.9
中の原農村公園	鏡野町羽出西谷 1048-1	1992	14.5
杉農村公園	鏡野町杉 871	1998	9
長藤農村公園	鏡野町長藤 263-3	1995	17.28
森の公園	鏡野町杉 812-15	2004	25
ふるさと公園	鏡野町富西谷 118-1	1999	129

⑫供給処理施設

供給処理施設は、ゴミ焼却施設が 1 施設、延床面積は 958.33 m²あります。北部衛生クリ

ーンセンターは建築後 30 年を経過していませんが、津山圏域クリーンセンターの稼動により平成 28 年度からは廃止されることが決定しています。

供給処理施設	所在地	代表建築年	延床面積 (㎡)
北部衛生クリーンセンター	鏡野町井坂 523-3	1992	958.33

⑬その他

その他施設は、23 施設、延床面積は 2,131.3 ㎡あります。これらの施設のうち建築後 30 年を経過している建物の延床面積の割合は 66.7%です。

その他	所在地	代表建築年	延床面積 (㎡)
塚谷共同墓地休憩所	鏡野町塚谷 1170-2	1988	13.5
平の下水路ポンプ小屋	鏡野町竹田 663-8	2002	3.42
香北共同作業所	鏡野町真経 730	1992	61.12
奥津教職員住宅	鏡野町羽出 710-1	1982	360
中学校バス停	鏡野町女原 101-1	2002	10
奥津公共墓地	鏡野町奥津 485-4	1989	16
箱公共墓地	鏡野町箱 151	1996	27.11
山の幸園地倉庫	鏡野町土生 1119-1	2004	48
奥津温泉洗濯場	鏡野町奥津 51-4	1978	37
羽出小学校旧西谷分校体育館	鏡野町 1040-2	1961	151
羽出バス待合所	鏡野町羽出 345-1	2006	5.13
旧羽出小学校校長宿舎	鏡野町羽出 692-1	1968	81.15
旧中学校技術室	鏡野町上齋原 1380	1964	192
上齋原診療所医師住宅	鏡野町上齋原 480-1	1999	148.72
かみさいばらバスのりば	鏡野町上齋原 473-2	1997	15.75
もみじ館 (医師住宅)	鏡野町富西谷 128-1	1990	209
宮原公衆トイレ	鏡野町富西谷 193-1	1989	24.63
楠公衆トイレ	鏡野町楠 9-2	1989	9.68
大空バス車庫	鏡野町富西谷 619	1991	82
ゴミステーション (ふるさと公園)	鏡野町富西谷 115-1	1997	2.97
ゴミステーション (公民館裏)	鏡野町富西谷 124	1998	7.4
ゴミステーション (馬場団地)	鏡野町富東谷 414-8	1995	3.75
登美山荘	鏡野町富西谷 1-4	1977	621.97

(2) 公共施設の維持管理に要した経費について

公共施設を保有すると、毎年維持管理費用が発生します。平成 26 年度に維持管理に支出した費用を施設の用途ごとにまとめると、次の表になります。

用途分類	燃料費	光熱水費	修繕料・工事費	使用料	委託料	合計(円)
行政系施設	5,426,703	13,963,559	26,702,647	893,180	12,117,176	59,103,265
学校教育施設	13,628,103	27,642,899	150,215,688	6,372,306	43,593,909	241,452,905
公営住宅	0	96,000	4,955,455	60,750	42,120	5,154,325
市民文化系施設	2,022,338	11,319,120	10,365,086	1,380,644	30,864,948	55,952,136
社会教育系施設	80,880	10,661,221	5,174,410	430,211	15,328,689	31,675,411
スポーツ・レクリエーション系施設	9,304,645	13,283,789	211,950,663	47,381,274	100,642,999	382,563,370
産業系施設	0	4,351	8,930,880	12,258	13,287,722	22,235,211
子育て支援施設	3,437,934	12,105,509	13,860,800	2,532,690	10,085,326	42,022,259
保健・福祉施設	77,026	687,498	5,384,880	74,880	138,726,921	144,951,205
医療施設	1,251,659	3,057,387	798,660	640,866	1,743,948	7,492,520
公園	0	160,677	62,640	0	8,161,880	8,385,197
供給処理施設	987,476	7,631,834	11,004,336	137,137	12,924,608	32,685,391
その他	0	89,691	72,360	30,786	240,000	432,837
合計(円)	36,216,764	100,703,535	449,478,505	59,946,982	387,760,246	1,034,106,032

鏡野町全体では 10 億円以上を公共施設の維持管理に要しています。上記には大規模な改修工事費用も含めているため、年により変動はありますが、建物がある限りは毎年莫大な費用がかかることがわかります。建物は建設費用（イニシャルコスト）に注目されがちですが、維持管理費用（ランニングコスト）にも注意する必要があります。建物を建設から解体するまでにかかる費用のことをライフサイクルコストと呼びますが、ライフサイクルコストはイニシャルコストの 3-4 倍もかかるといわれており、ライフサイクルコストを最小化する必要があります。更に、老朽化が進むとランニングコストが増える傾向にあることにも注意しなければなりません。

第4章 公共施設の抱える課題と今後の取り組み

(1) 公共施設の抱える課題

これまで見てきたように、鏡野町には非常に多くの施設があります。今後老朽化の進行により改修・建て替えに非常に多くの予算が必要となりますが、その全てを保有し続けることは非常に困難な状況です。また、無理をして公共施設の更新に予算を配分すると、他の公共サービスが十分に提供されなくなる可能性があります。今後は次の課題の解決に一丸となって取り組まなければなりません。

①公共施設の老朽化

現在保有する施設のうち建築後 30 年を経過している建物は、30%ですが、今後 10 年間のうちに 60%が 30 年を経過することになり、多くの施設で改修が必要となります。改修を行わなければ、施設を良好な状態で使用することが困難となり、利用者の安全を確保できない可能性があります。特に、災害時の防災拠点や避難所となっている施設は、安全性の確保が求められます。

②更新費用の平準化と圧縮

今後 40 年間で必要な費用は 751.8 億円と試算されましたが、年度によってバラつきがあり、年度によっては過去 5 年間の公共施設に係る投資的経費の平均と比較して、最大で 4.1 倍にもなります。財政負担を軽減するために、平準化して更新を行う必要があります。

③施設の余剰化

現在の住民一人あたりの公共施設の保有量は、13 m²/人と非常に多いことがわかりました。全ての施設を今後も維持するとした場合、人口減少により住民一人あたりの保有量は更に増えることとなります。施設によっては、利用者が減り余剰スペースが生まれることが予測されます。

④公共施設に求められる役割の変化

これまでに社会的ニーズに合わせて公共施設を整備してきていますが、整備当時とは環境や求められる役割が変わってきている施設もあります。社会や環境の変化による公共施設に求められる役割の変化に対応する必要があります。

⑤インフラ施設の老朽化

この白書では取り上げていませんが、道路や上下水道といったインフラ施設も老朽化します。公共施設と比較して、より生活に密着しており、対策を講じなければ生活に大きな影響を及ぼすこととなります。

(2) 今後の取り組みの方向性

これまでに示した鏡野町の現状と課題からすると、今後は公共施設のあり方について長期的な視点を持ったマネジメントを行う必要があり、次のような取り組みが必要になると考えます。

①全庁的、総合的な取り組み

これまでの施設毎、所管課毎の管理運営から、公共施設を鏡野町の重要な経営資源と捉え、持続的にサービスを提供できるよう全庁的、総合的な管理運営を行うことが必要と考えます。利用状況や老朽化の状況、運営費用などを分析し、長期的な視点を持つことで、目指すべき公共施設の質と量を明らかにし、他の公共サービスとのバランスを保ちながら、財政負担の軽減と平準化を図らなければならないと考えます。

②適切な維持管理、予防保全の取り組み

これまでは施設の建設ばかりに注目し、その後の維持管理についてはあまり注目しておらず、施設に不具合が生じるとその都度対応するといった対症療法的な事後保全が行われてきました。そのため、劣化や老朽化が進行し、結果的に多額の修繕費を費やしてきた可能性もあります。適切なタイミングで適切な対策を行えば、施設の寿命を延ばし、快適に利用し続けることができます。今後はライフサイクルコストの縮減を図るために定期的な点検・診断を行い、計画的な維持管理を行う予防保全の取り組みを進め、老朽化対策を行うことが必要と考えます。

③施設の有効な利用

現在保有している施設は、その時々々の公共サービスに対するニーズに合わせるために整備してきました。しかし、人口減少・構成の変化によりニーズも変化し、効率的な利用がなされていない施設もあります。施設で提供されるサービス・機能に着眼すると、複合化を図ることで、1施設で複数のサービスを提供することができ、有効に活用することができます。また、近隣自治体と共同設置・利用することも考えられます。更には、民間との連携により、公共サービスに加えて、生活に必要なサービスが提供され、より満足度の高い暮らしができるようになれば、地域の活性化にもつながると考えられます。

④合意形成と推進

これらの取り組みは、行政だけで達成できるものではないと考えています。また、これまでの公共施設の役割を踏まえると、これからの公共施設のあり方を考えることは、これからのまちづくりを考えることにつながると考えています。そのため、町民の方々との合意形成を図りながら、今後の鏡野町について未来像を共有していきたいと思えます。また、未来像を共有するだけでなく、実現するための強力な推進者として参加していただき、共に今後のまちづくりを進めていきたいと考えます。

今後は、この白書を基に鏡野町の現状と課題を共有するための説明会を開催するとともに、この白書では分析していない利用状況や老朽化度の調査を行い、更にこの議論を深めていきたいと考えます。また、平成 28 年度中にはインフラ施設も対象とした今後の管理に関する基本的な方針である「鏡野町公共施設等総合管理計画（仮称）」を策定します。

鏡野町公共施設白書

平成 28 年 3 月

鏡野町総務課財政係
電話：0868-54-2111
FAX：0868-54-2891